ジム・オニール（北川知子 訳）『次なる経済大国』ダイヤモンド社 2012 年

Jim O'Neill, *The Growth Map*, Penguin Books Ltd., 2011.

目次

序章	想像を絶する成長
第 1 章	BRIC s の誕生
第 2 章	「新興」から「発展」へ
第 3 章	BRIC s – ブラジル、ロシア、インド、中国
第 4 章	勃興する成長国市場
第 5 章	成長に伴う資源は十分か
第 6 章	次なる消費大国
第 7 章	歴史を超える新たな経済同盟
第 8 章	世界経済の新たな秩序
第 9 章	塗り替わる世界経済地図
終章	世界はよりよい時代に

著者紹介

ジム・オニール

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント (GSAM) 会長。

1995 年にゴールドマン・サックスに入社。チーフ・エコノミストとしてグローバル経済・コモディティ・投資戦略調査部を率い、2010 年から現職。

造語「BRIC s」の生みの親として知られており、チームと共同で 2001 年に初めて BRIC s に関する分析レポートを発表した。教育関係の慈善事業にも積極的に取り組み、ロンドンを拠点とする教育支援団体 SHINE の会長を務めている他、英国ロイヤル・エコノミック・ソサエティ、イティネラ及びブリュージュの役員も務める。サッカーのマンチェスター・ユナイテッドの熱烈なファンでもあり、同クラブの社外取締役も務めている。

選定理由

- ① 「BRIC s」とはブラジル、ロシア、インド、中国の頭文字をとった造語であるが、それぞれの国の特徴を捉える。
- ② 「BRIC s」はなぜ急成長を始めたのか。原動力は何なのか。
- ③ 「BRIC s」が台頭してきたことにより、世界の国々に与える影響（メリット、デメリット）や、関係はどのようなものなのか。
- ④ 「BRIC s」から今の先進国にとって代わるような世界経済のリーダーは誕生するのか（どこまで成長を続けることができるのか）。

以上のことを踏まえながら、世界経済がどのように変化していくのかを考察する。